

第2のステップへ

「ゴールドステッカー」注目集まる

環境に優しく、環境負荷の少ない事業運営の「グリーン経営」認証制度。2003年に始

まって今年は11年目だ。

グリーン経営の認証機関は交通エコロジ・モビリティ財団（与田俊和理事長）。中小規模の事業者でも環境マネジメントに取り組みるとして「中小企業版ISO」とも称され、運送業界に大きく貢献している。

10年間の努力に敬意
永年登録事業所表彰

エコモ財団は昨年10

月、グリーン認証制度の10年の節目に、認証登録を10年継続している事業所に対して「グリーン経営認証永年登録事業所表彰」制度を設けた。

該当事業所には事業所名を公表、表彰状、記念額を授与する。また、通常、認証取得事業所はグリーンステッカーを授与されるが、10年継続すると、ゴールドステッカーを授与される。この金

色の認証ステッカーを車体に貼ることや、名刺や印刷などに表示する権利を有する。

エコモ財団・交通環境対策部の加藤信次部長は、「グリーン経営に10年間取り組んだ事業者に対してご努力に敬意を表する意味があります」。また、「10年間、取り組んだ事業者への差別化、見える化の一環」としている。



加藤交通環境対策部長

カーの付加価値が加わると、さらに新鮮な活性化が期待できそうだ。
東京都トラック協会のグリーン・エコプロジェクトでは、グリーン経営認証取得も目標に位置づけている。また、今年から始まったグリーン購入ネットワークの「輸配送契約ガイドライン」登録でも、グリーン経営認証を条件の一つとしている。

加藤部長は、グリーン経営認証事業所への国や自治体のさらなる優遇政策などを望む一方、「11年目へ第2のステップとして、事業所の皆さんにさらに貢献するためにお役に立ちたい」と意欲を示している。

に取り組むと、環境マネジメントによる社会貢献のほか、経営者と社員の愛社精神の高まりや、荷主の信頼、新規荷主の開拓効果が大きい。
また、経済効果としてこれにゴールドステ



ゴールドステッカー（トラック・バス・タクシー用）